

科目名	宗教学Ⅰ／宗教の歴史(別)1						学期	前期	
副題	宗教の歴史				授業方法	講義	担当者	土居夏樹	
ナンバリング	M-03-057	実務経験の有無	無	関連DP	4, 5	単位数	2	他	A

授業の目的と概要

宗教は人類の営みの中で発生した文化的現象である。その歴史をたどることは、すなわち人類の営みをひもとくことにほかならない。さらに仏教史や密教史以外の宗教史を知ることで、仏教や密教の有する歴史的意義がより明確になろう。この講義では、原始・古代における宗教の発生から、ギリシャ・ローマの宗教の歴史を踏まえつつ、キリスト教へとつながる宗教の歴史を概観する。

授業の到達目標

人類の歴史の中で、古代の宗教やユダヤ教、キリスト教といった諸宗教が、どのように展開してきたのかを概観し、人類の営みの中で宗教の果たす役割を理解する。

授業計画

1. ガイダンスとイントロダクション
2. 宗教の起源
3. 古代諸文明の宗教①－メソポタミアの宗教－
4. 古代諸文明の宗教②－古代エジプトの宗教－
5. ギリシャ・ローマの神話
6. ユダヤ教の歴史①－天地創造からエジプト脱出－
7. ユダヤ教の歴史②－王国の成立－
8. ユダヤ教の歴史③－バビロン虜囚－
9. キリスト教の歴史①－イエス・キリストの生涯－
10. キリスト教の歴史②－使徒たちの活動－
11. キリスト教の歴史③－ローマ帝国とキリスト教－
12. キリスト教の歴史④－東方教会・西方教会－
13. キリスト教の歴史⑤－十字軍・魔女裁判－
14. キリスト教の歴史⑥－宗教改革－
15. 前期のまとめとレポートの講評

準備学習(予習・復習)・時間

・事前に該当する宗教の歴史について調べてくる (30分) ・授業で紹介された宗教について、自分で調べてみる (30分)

テキスト

※各回、プリントを配布する。

参考書・参考資料等

・『世界宗教史』Ⅰ～Ⅲ (ミルチア・エリアーデ著、筑摩書房) ・『図解世界五大宗教全史』(中村圭志、ディスカヴァー21) ※その他、授業中に適宜紹介する。

学生に対する評価

期末レポート (60%)、授業時の積極的参加 (40%)

ルーブリック(目標に準拠した評価)

- (C) 関心のある宗教の概要を理解している。
 (B) 関心のある宗教の歴史的展開について、大まかに理解している。
 (A) 関心のある宗教の歴史的展開について、現代的な意味や意義を説明できる。
 (S) 上記 (C) ～ (A) を踏まえて、自説を展開できる。

課題に対するフィードバックの方法

授業内でレポートへの講評を実施する。

その他

※取り扱う内容は受講生と相談の上、変更することがある。 ※受講生の積極的参加が必要なアクティブ・ラーニングである。